

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.5

1963(昭和38)年8月、東松山橋が開通しました。東松山警察署から高坂方面へ向かう旧国道407号(現在は市道)の都幾川に架かるこの橋は、産業文化の発展に寄与するだけでなく、時間の節約や交通事故の防止につながると期待され、多くの市民が待ち望んでいました。完成までに3年の歳月を要し、総工事費は約1億4千万円でした。

8月29日の落成式には、
200人以上の関係者が参列したよ



唐子橋にう回していた大型車両の
通行が可能になったんだよ!

東松山橋開通

1963(昭和38)年



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画『漫画でわかる梶田隆章先生とニュートリノ』のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所所長・教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。

ちょっと

より道

ひがしまつやまばし たかさか
東松山橋(高坂)



交通: 東武東上線「高坂駅」東口から徒歩約12分
所在地: 高坂667番地ほか

東松山橋は市内を流れる都幾川にかかる橋長272メートル、8径間のPC(プレストレスト・コンクリート※)橋です。幅員は歩道部分を含め8.25メートルあります。

東松山橋ができる前、この付近で都幾川を渡るには、大雨のたびに近隣にあった高坂冠水橋が通行不能となると、上流にある唐子橋にう回するなど不便な状態でした。東松山橋の開通で、その不便さを多くの市民が解消できました。2007(平成19)年、東側(下流)に国道407号東松山バイパスの新東松山橋が開通したことで、市道となりましたが、今でも東松山市の欠かせない橋のひとつです。

8月4日は「橋の日」です。歴史ある東松山橋を歩いて渡ってみませんか。



建設中の東松山橋



現在の東松山橋

※プレストレスト・コンクリート(prestressed concrete)…あらかじめ応力を加えたコンクリート材